

# 明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第87号 平成22年2月発行

## ○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



## 自然ふれあい活動を振り返って・・・(1月31日)

・みんなが力を合わせて、自然を守るためには

## ○みんなが力を合わせて、自然を守るためには

1月31日にじゅうろくプラザにおいて、「森・川・海ひだみの流域サミット」が開催されました。このサミットでは、岐阜県の流域毎にどのような取り組みが行われているのかについて、活動に携わっている市民同士が交流を行い、どのような活動が自然環境の保全に繋がるのかを考えました。

その分科会の一つ 長良川流域部会では、長良川の上流域から下流域の子どもたちが、川での自然体験を通して交流を深めた「長良川流域子ども協議会」の活動発表がありました。子どもたちにとっては自然体験こそが最高の環境学習であり、そのような機会を設けるためには、市民だけでなく行政の役割も非常に重要であることが訴えられました。

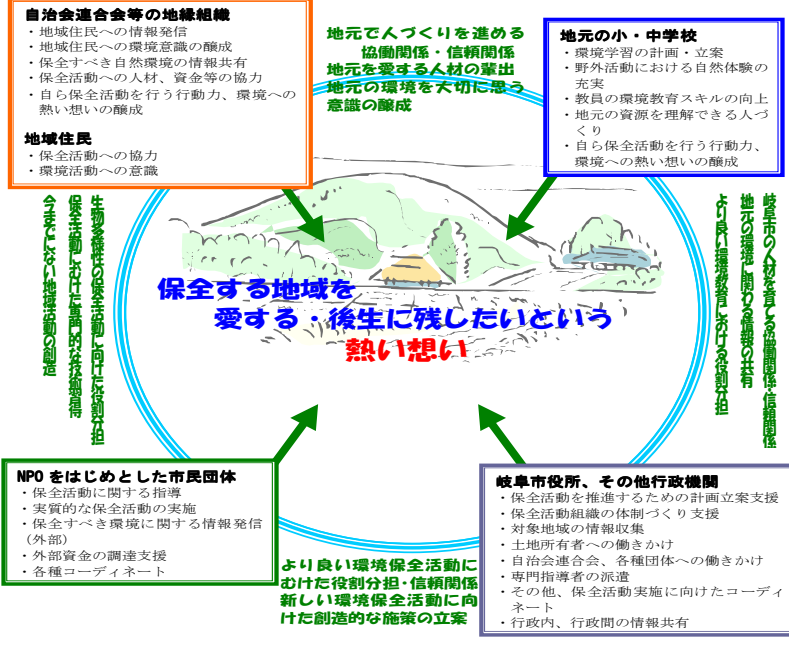


会場には、多くの市民を始め行政関係者の人も集まって意見交換をしました。



自然を残したいという多くの人たちの意見が発表されました。





金華山、大洞、山県北野、鷺山をはじめ地域住民が活躍し保全活動を進めている取り組みが広がっています。

また、岐阜市が実施している「自然ふれあい活動支援」については、金華山、大洞、山県北野、鷺山を拠点に、多くの市民や団体が、地域の自然が抱える課題を解決するために取り組んでいることを報告しました。

参加者からは、市民主体の活動に対する行政からの支援のあり方について質問があり、これまでの岐阜市の取り組みを振り返っていきました。自発的な市民活動に対し、行政からどのような支援が必要なのか？ 自己満足にとどまらないためにはどのような視点が必要なのかなど、市民と行政の協働について考えさせられる意見交換でした。

○おわりに

これまでの自然ふれあい活動支援を振り返ると、各地域の活動が徐々に変化・発展していることに気づかされました。行政はその変化を敏感にキャッチし、状況に応じた適切な支援を実施していくことが求められています。

私たちは、“地域に対する熱い思い”をゆるぎない軸として、柔軟に市民活動の支援を進めていきたいと思えます。

**岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ**  
 岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村  
 TEL：058-265-4141（内線：6451） FAX：058-267-1374  
 E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp  
**岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」**  
<http://www.gifu-nature.net/>  
 自然環境課ホームページ：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html